

令和3年秋 子ども図書館おすすめ本

★幼児におすすめの本★

★『おばけパーティ』

ジャック・デュケノア/^{さく}作 ^{おおさわあきら やく}大澤 晶/^{しゅつぱん}訳 ほるぷ出版

ふるいおしろのおおひろまで、おばけのアンリがともだちをパーティにしようたいしました。いろんなごちそうをたべたおばけたちは、いったいどうなるのでしょうか？ 楽しいおばけパーティのはじまりです。

★『くだもの』

^{ひらやまか ずこ さく}平山和子/^{ふくいんかんしよてん}作 福音館書店

もも、ぶどう、なし、りんご、かき……いろいろなくだものを、あざやかにえがいている、くだものほん。あきにたべられるおいしいくだものも、たくさん のっています。おもわずくだものがたべたくなる、あきにはぴったりのえほん です。

★『きょうのおやつは（かがみのえほん）』

わたなべちなつ/^{さく}作 ^{ふくいんかんしよてん}福音館書店

ページが かがみのようにぴかぴかしている しかけえほん。ページをたてて、よんでみればあらふしぎ。となりのページのえがうつりこみ、ほんとうにおやつをつくっているかのよう。たまご、こむぎこ、さとうにぎゅうにゅう…ざいりょうをまぜてできあがる、きょうのおやつはなんでしょう？



★小学校1・2・3年生におすすめの本★

★『ももいろのきりん』

なかがわり え こ ぶん なかがわそうや え ふくいんかんしよてん
中川李枝子/文 中川宗弥/絵 福音館書店

るるこは、お母さんから、とても大きなももいろの紙^{かみ}をもらいました。るるこは、のりとハサミとクレヨンで大きなキリンを作り、「キリカ」となまえをつけました。雨にぬれてキリカの色がはげたので、るるこはキリカにのって「クレヨン山」にむかいます。

★『どんぐりかいぎ』

こうやすすむ^{ぶん} かたやまけん^え ふくいんかんしよてん
こうやすすむ/文 片山健/絵 福音館書店

どんぐりのもりでは、どんぐりがたくさんなる年と、すこしかならない年が1年おきにあります。なぜかというところ…。ある日、どんぐりの木たちは、どうぶつたちが、どんぐりをぜんぶたべてしまい、どんぐりのめがでなくなることにきがつきました。どんぐりの木たちはどうしたらいいか、かいぎをひらくことにして…。

★『ちびドラゴンのおくりもの』

イーリーナ・コルシュノフ/作 さく いとうひろし^え さかよしんいち やく こくどしや
イーリーナ・コルシュノフ/作 伊東寛/絵 酒寄進一/訳 国土社

ハンノーはいつも学校でからかわれるので、もう学校に行きたくありません。ある日公園^{こうえん}で小さなドラゴンに出会い、友だちになって家^{いえ}につれてかえります。

ハンノーはちびドラゴンと学校にも行くようになります。すると、いつのまにか^{にがて}苦手なこともできるようになって…。



★小学校4・5・6年生におすすめの本★

★『くまのパディントン』

マイケル・ボンド/作 ペギー・フォートナム/絵 まつおかきょうこ やく ふくいんかんしよてん 松岡享子/訳 福音館書店

ペルーからロンドンにやってきたくまのパディントンは、ブラウン夫妻ふさいに出会い、ブラウンさんの一家といっしょに暮らすこととなります。好奇心こうきしんいっぱいのパディントンは、あちこちでさわぎをおこし、思わず笑いがあふれます。人気シリーズの第1作。

★『せんねんまんねん』

まど みちお/詩 ゆのきさみろう りろんしゃ 柚木沙弥郎/絵 理論社

「せんねんまんねん」と聞いてどんなイメージがありますか？詩人まどみちおのこの詩に、柚木沙弥郎が絵を描き、絵本になりました。この世界のあらゆる生命、あらゆるできごととはつながっている…。ダイナミックな絵とともに、まどさんの言葉が深くひびきます。手に取って自由に感じてみてください。

★『ぼうけんしゃ冒険者たちーガンバと十五ひきの仲間』

さいとうあつお やぶうちまさゆき いわなみしよてん 斎藤惇夫/文 数内正幸/絵 岩波書店

町ネズミのガンバは、ある日島のネズミたちがイタチにおそわれそうだと知る。ガンバは島ネズミたちを助けに15匹のネズミたちとその夢見ゆめみが島に行く。初めての海、強敵きょうてきなイタチのノロイ一族。ついに決戦の時を迎えますが…。

字が小さく厚い本ですが、読みはじめるとストーリーにひきつけられます。シリーズは『グリックの冒険』『ガンバとカワウソの冒険』。

